

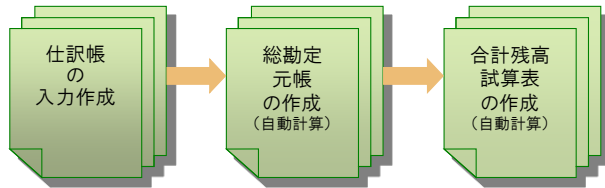
●仕訳帳～会計残高試算表 (Microsoft Excel) 取扱説明書

※Microsoft Excel は米国マイクロソフト社の登録商標です。

このソフトウェア(以下、本SWと記す)は、会計における勘定仕訳から会計残高試算表までの一連の計算事務を、仕訳帳の作成と前繰越残高と特殊仕訳帳残高の入力のみで全て自動計算で行うことができます。

また、必要に応じ任意に拡張機能を設定することもできます。

本SWでは、以下の過程で会計計算を行います。



本SWでは、仕訳帳に部門番号(自由設定)の入力欄を設けたことにより、各会社における部門別の財務運用がしやすくなっています。

本SWはMicrosoft Excel を使用して製作されています。本SW各バージョンの以前のバージョンのMicrosoft Excel では本SWを利用できないか、またはマイクロソフト社の指定する互換ソフトウェアをPQIにインストールする必要があります。

本SWでは初期設定のフォント(書体)をHGSゴシックM(Microsoft Office全バージョンに標準装備)としています。

●ソフトウェアを適切に使用するために

本SWはパーソナルコンピュータによって使用するソフトウェアです。

ソフトウェアの適切な使用のため、以下の事柄について御留意の上本SWを御利用いただくようお願いいたします。

> ファイルのバックアップを用意する

本SWでは初期設定においてバックアップファイルを標準装備していません。

万が一ファイルを削除、消失あるいはデータが損壊した場合に備えてバックアップファイルを作成することをお勧めします。

> 作業終了時にファイルを保存する

作業終了後ファイルを保存しないと入力したデータが消失してしまいます。

また、作業中に電力供給ヒューズがダウンしたり、送電停止となった場合もその時点で保存していないデータは消失します。

作業終了時には必ずファイルを保存し、また、ペーゼメントソフトウェア(本SWではMicrosoft Excel)の「自動保存機能」を設定しこまめにファイルが保存されるようにして下さい。

> 他のファイルと一緒にディスク保存しない

本SWを外部ディスクに保存する場合、他のファイルと一緒に保存すると気づかぬうちにディスクの残り容量が不足し、ディスクに保存されたファイルが全て消失してしまいます。

本SWは専用に用意した外部ディスクまたはハードウェアディスクに保存して下さい。

> 改造は慎重に

必要に応じ本SWを改造する場合、不用意に行くと計算が正しく行われなくなったり、SWが動作しなくなることがあります。

本取扱説明書に説明のない設定変更や改造及び違法改造は行わないようにして下さい。

> 適度に休憩を取る

本SWはその見易さと扱い易さに万全を期していますが、一般にパーソナルコンピュータによる長時間の連続作業は疲労をもたらすものです。

長時間作業する場合は適度に休憩を取って下さい。

●使用の前に

< 本SWで用意されているワークシート >

1. シート保護用パスワード
2. 部門設定
3. 勘定科目設定
4. 元丁設定
5. その他設定
6. 仕訳帳
7. 条件別仕訳抽出
8. 総勘定元帳(合計金額のみ)
9. 総勘定元帳
10. 会計残高試算表 資産の部
11. 会計残高試算表 負債の部
12. 会計残高試算表 資本の部
13. 会計残高試算表 費用
14. 会計残高試算表 収益
15. 他ファイルへの参照

シートタブ



< シート保護用パスワードの設定と変更 >

本SWでの入力の際、入力するセルのみを開放するため、自動計算のセルや勘定科目などの項目欄は全てロックしてワークシートを保護(シート保護)してあります。

通常事務の時はシート保護を解除する必要はなくそのまま使用することができますが、部門番号、部門名、使用する勘定科目を変更(追加または削除)する時にはシート保護を解除して変更作業を行う必要があります。

そのため、シート保護用パスワードを予め設定しておく必要がありますので、以下の要領によって設定作業を行って下さい。

パスワードの変更は28回までできます。

- 1> 「シート保護用パスワード」のワークシート(最左端)を表示する。
- 2> パスワードの設定を行った日の日付を「設定日」の欄(セルA3～31)に入力する。
入力の形式は 例)2010年9月30日の場合…… 2010/09/30 または 2010/9/30
- 3> 各ワークシート毎にパスワードを設定し、その見出しの欄(セルC3～N31)に入力する。
入力の形式は半角英数字で、文字数は無制限。

保護と解除> ツール →保護 より行う。

なお、初期設定では全てのワークシートのパスワードを「k」に設定してあります。

また、特定の入力欄に対してのみ設定されたセル保護に用いる範囲パスワードも初期設定ではシート保護用パスワードと同じく「k」に設定してあります(摘要欄に「共通」と記載)。

シート保護用パスワードと範囲パスワードは同じに設定して差し支えありませんが、異なるパスワードを設定する場合は設定表にその旨摘要を記して下さい。

※ 範囲パスワードを用いて特定の入力欄のセル保護を解除した場合、セルの編集を終了しただけではセル保護は再び有効となりません。

一旦シート保護を解除し、再びシート保護とすることにより特定の入力欄のセル保護が再び有効となります。

<部門の設定と変更>

仕訳帳に入力する部門番号を設定します。
部門番号を用いると、別ファイルの作成により部門毎の合計金額や金額構成比などを算出して財務分析や経営目標の策定などに用いることができます。
そのため、部門の設定を以下の要領によって行って下さい。
部門番号と部門の名称は200件まで設定できます。

- 1> 「勘定科目」のワークシート(左から2つ目)を表示する。
- 2> 部門番号を「部門番号」の欄(セルA2～201)に入力する。
- 3> 部門番号の示す部門の名称を「部門」の欄(セルB2～201)に入力する。

部門の設定欄は範囲パスワードによるセル保護の対象となっています。
部門の設定欄はシート保護されていてもセルデータの並べ替えは可能となるよう設定されています。
但し、セルデータを個別に移動する場合はセル保護ないしはシート保護の解除が必要となります。

<使用する勘定科目の設定と変更>

本SWを用いて行う会計事務を通じて使用する勘定科目を設定します。
初期設定で、使用する勘定科目の一覧に4桁の番号が付されているのは勘定科目の各帳簿及び財務諸表での表示順序を設定するためのものです。
勘定科目の設定一覧を並べ替える際はその番号の列と勘定科目の列を同時に並べ替えて下さい。

初期設定での勘定科目番号の設定： 1000の位…項目分類 100の位…小分類 10の位以下…各勘定科目の番号
上から2桁の数字は別SWの『財務諸表 2010』において項目毎の集計を行うための設定ですのなるべく変更しないで下さい。

1. ～2. 資産	3. ～4. 負債	5. 資本
1000～ 現金 及び現金に準ずる流動資産	3000～ 借入金	5000～ 資本金
1100～ 預金	3100～ その他の流動負債	5100～ 資本剰余金
1200～ 売掛金及び受取手形	3200～ 買掛金及び支払手形、その他手形債務	5200～ 利益剰余金
1300～ 有価証券	3800～ 偶発債務	5300～ 任意積立金
1400～ 未収入の品及び貸付	4000～ 長期借入金	5400～ その他の積立金
1500～ 棚卸資産	4100～ その他の長期に亘る取引	
1700～ その他の流動資産	4800～ 長期に亘る偶発債務	
1800～ 偶発債務	4900～ 引当金	
1900～ 貸倒引当金	30000 特殊勘定	
2000～ 建設仮勘定その他固定資産関係		
2100～ 減価償却資産		
2200～ 繰延資産		
2300～ その他の固定資産		
2400～ 長期に亘る取引		
2900～ 長期貸付金に係る貸倒引当金		
10000 特殊勘定		

6. ～7. 費用	8. ～9. 収益	10. 利益
6000～ 売上原価に係る費用	8000～ 売上及び販売上	10001 売上総利益
6100～ 売上原価に係る費用、または販売一般管理費	8100～ 営業収益	10002 営業総利益
6200～ 売上原価に係る費用、または販売一般管理費	8500～ 営業外収益	10003 営業利益
6300～ 販売一般管理費	8700～ 引当金戻入	10004 経常利益
6400～ 構成員の報酬に係る販売一般管理費	8800～ 本支店勘定	10005 税引前当期利益
6500～ 営業外費用	8900～ 貸倒引当金戻入	10006 当期純利益
6700～ 繰延費用及び引当金	9000～ 特別収益	
6800～ 本支店勘定	9800～ 偶発債務に係る収益	
6900～ 貸倒に係る費用	9900～ 貸倒に係る収益	
7000～ 特別損失	80000 特殊勘定	
7500～ 税金		
7800～ 偶発債務に係る費用		

使用する勘定科目は各項目毎に150件、全項目で900件まで設定できます。

- 1> 「勘定科目設定」のワークシート(左から3つ目)を表示する。
- 2> 使用する勘定科目を「1. ～2. 資産 ～ 10. 利益」の欄(セルC.F.J.L.O.R3～152)に入力する。
- 3> 必要に応じ、各勘定科目の直左の欄(セルB.E.H.K.N.Q3～152)に勘定科目の番号または記号を入力する。

勘定科目設定欄の入力可能な残り件数が上部に表示されます。

勘定科目設定で入力した勘定科目は過不足や誤りがあると仕訳帳、総勘定元帳及び会計残高試算表における計算に支障が生じるので正確に入力して下さい。
なお、勘定科目設定に空白の入力欄があっても計算に支障が生じることはありませんが、なるべく各項目の上の欄から始めて入力して下さい。

勘定科目設定欄は範囲パスワードによるセル保護の対象となっています。
勘定科目設定欄はシート保護されていてもセルデータの並べ替えは可能となるよう設定されています。
但し、セルデータを個別に移動する場合はセル保護ないしはシート保護の解除が必要となります。

●元丁設定

「元丁設定」とは、特殊仕訳帳で会計残高を集計するため仕訳帳からの総勘定元帳など勘定口座への転記を行わないこととしている勘定科目を予め設定しておくことによりそれら勘定科目が仕訳帳に入力された場合誤入力警告表示が出るようにするためのものです。
本SWでは総勘定元帳を合計金額のみの集計としているため、特殊仕訳帳の残高を総勘定元帳で合算せず会計残高試算表で合算する点において標準的な総勘定元帳と異なります。

- 1> 「元丁設定」のワークシート(左から4つ目)を表示する。
- 2> 勘定口座への転記を行わない勘定科目について「不要」の欄(セルE3～756)に「1」を入力する。
「不要」に設定すると「仕訳帳」で当該勘定科目を入力した場合に「レ」が表示され、他の勘定科目については勘定口座番号が表示されます。
- 3> 特殊仕訳帳の残高を会計残高試算表の「特殊仕訳帳残高」の欄(セルD3～152)に入力する。

※ 特殊仕訳帳における相手科目についての残高も忘れずに会計残高試算表の特殊仕訳帳残高の欄に入力して下さい。

(転記の)不要設定欄は範囲パスワードによるセル保護の対象となっています。

●誤入力警告設定

仕訳帳における誤入力警告表示の設定を行います。

「仕訳1行毎に貸借平均を検知する」は全ての勘定科目に対して対応する相手勘定を入力する場合に選択して下さい。
相手勘定を入力しないと誤入力と判定し、警告表示が出ますので注意して下さい。

「合計金額のみで貸借平均を検知する」は諸口による勘定仕訳を使用する場合に選択して下さい。
勘定仕訳の入力位置が整っていない場合でも勘定金額が貸借一致していると、他に何らかの誤りがあっても警告表示は出ません。

●仕訳帳の入力作成

仕訳は勘定を問わず1000件まで入力できます。
仕訳入力欄が不足となった場合は

1> コピーにより、1000件目の行(セルA1002～H1002)の下に新たに行を設ける。
2> 参照の数式(関数)で、「1002」と設定されている箇所を新たに設けた行の最終行のセル行数に修正する。

1> 対象となる取引日の日付を「日付」の欄(セルB3～1002)に入力する。
入力の形式は 例)2010年9月30日の場合…… 2010/09/30 または 2010/9/30
2> 取引を行った部門の部門番号を「部門」の欄(セルC3～1002)に入力する。
3> 借方勘定科目を「借方勘定科目」の欄(セルD3～1002)に入力する。
4> 借方金額を「借方金額」の欄(セルF3～1002)に入力する。
、や通貨記号などは入力する必要はありません。
本SWでは日本円(¥)建取引及び日本円表示に換算済の外貨建取引のみを集計するため、外貨建取引は別帳簿にて記帳し、別途集計作業を行って下さい。
5> 伝票番号と摘要を「伝票番号」と「摘要」の欄(セルH3～1002、I3～1002)に入力する。
6> 貸方勘定科目を「貸方勘定科目」の欄(セルJ3～1002)に入力する。
7> 貸方金額を「貸方金額」の欄(セルK3～1002)に入力する。
、や通貨記号などは入力する必要はありません。
本SWでは日本円(¥)建取引及び日本円表示に換算済の外貨建取引のみを集計するため、外貨建取引は別帳簿にて記帳し、別途集計作業を行って下さい。

<仕訳勘定科目の入力>

仕訳帳に勘定科目を入力する際、予め勘定科目設定で入力設定及び元丁設定した勘定科目と違いがあると総勘定元帳及び合計残高試算表の計算が正しく行われませんので、一字一句違いく正確に勘定科目を入力して下さい。
そのため、勘定科目設定を完了後そのワークシートを印刷して参照するか、または勘定科目設定のワークシートのウィンドウを並べて表示し参照することにより仕訳帳の作成作業を行うことをお勧めします。

<未記帳警告表示>

仕訳帳では記帳された最終取引の日付から3日を経過して新たな記帳がない場合、摘要項目欄の上にある警告表示欄に未記帳警告表示が出ます。
未記帳警告表示が出た場合、取引が継続されていても記帳が行われていないか、取引が継続されていない場合、あるいは日付入力に誤りがある場合が考えられます。

なお、それら未記帳警告表示は「条件別仕訳抽出」にも表示されます。

<誤入力警告表示>

仕訳帳ではいくつかの誤入力理由について摘要項目欄の上にある警告表示欄に誤入力警告表示が出ます。
誤入力警告表示の対照となる誤入力理由は以下の通りです。

—警告表示の対象となる—

- ・勘定口座への転記が不要な勘定科目が入力されている。 ……特殊仕訳帳を使用している場合は元丁欄に「レ」の表示のある仕訳を抹消し、特殊仕訳帳への記帳の有無を確認して下さい。
- ・勘定科目の入力に誤りがある。 ……勘定科目の入力に誤字や脱字がないか、あるいは勘定科目設定されていない勘定科目が入力されていないかを確認して下さい。
- ・金額の入力に誤りがある。 ……貸借平均が成立していない仕訳入力がないかどうかを確認して下さい。

—警告表示の対象とならない—

- ・仕訳に誤りがある。 ……本SWには仕訳の意味を認識する機能はないことにより、仕訳自体に誤りがあっても誤入力警告表示の対象とはなりません。
- ・証憑書類など資料の記載金額と仕訳帳への入力金額が違っている。 ……貸借平均が成立していれば仕訳金額そのものを誤入力していても誤入力警告表示の対象となりませんので、証憑書類など資料の参照の誤りがないように入力して下さい。

なお、それら誤入力警告表示は「条件別仕訳抽出」にも表示されます。

●条件別仕訳抽出の利用

本SWではMicrosoft Excelのオートフィルタ機能を使用した「条件別仕訳抽出」を装備しています。
これは、仕訳帳で入力された内容をそのまま条件別仕訳抽出表に転記し、そのデータを任意の条件別に抽出して集計などに利用することができるものです。
抽出条件を選択するフィルタはワークシートの最上行に設置されています。
ことに、部門別、勘定科目別の抽出は経営分析などに有効です。
また、営業日毎に仕訳を抽出して日次記録を作成することもできます。

グラフを作成する際、条件別仕訳抽出で抽出したデータを基に作成すると最も効率的に行うことができます。

なお、条件別仕訳抽出のワークシートは印刷して利用することが多いものと考えられるので、印刷用インクの消費量を低減するためカラーリングは極力少なくし、標題欄のみ色刷りされるようにしております。

<オートフィルタ機能とシート保護>

オートフィルタ機能では、データの条件別抽出はシート保護されていても行うことができますが、集計はシート保護を解除しないと行うことができません。
集計を行うときはシート保護を解除し、集計を終了したらシート保護を行って下さい。

<オートフィルタ機能による集計の終了>

オートフィルタ機能を使用して原データから任意の条件別に抽出したデータを集計し、再び原データの表示に戻る時は「集計の設定」において「すべて削除」を選択すると集計を終了し、原データの表示に戻ります。その場合、「すべて削除」を選択してもオートフィルタ自体は削除されません。

●総勘定元帳への集計

仕訳帳に入力した取引金額は全て自動計算で総勘定元帳に集計されます。

凡例>

資産の部、費用			負債の部、資本の部、収益		
勘定科目	勘定科目	差引合計	勘定科目	勘定科目	差引合計
借方合計	貸方合計		借方合計	貸方合計	

勘定科目設定で入力した勘定科目に過不足や誤りがあると総勘定元帳の計算に支障が生じるので正確に入力して下さい。

Excel 2010用バージョンでは、個別の勘定が全て総勘定元帳へ転記されます。
勘定科目の欄に集計する勘定科目を入力して下さい。

勘定科目						今期末累計残高:		
仕丁	日付	伝票番号	部門	相手勘定科目	摘要	借方金額	貸方金額	借/貸・累計残高
					前期繰越			

●合計残高試算表への集計

総勘定元帳で集計された期中総勘定は全て合計残高試算表へ自動転記され、累計残高を自動集計します。

予め前繰越残高と特殊仕訳帳残高を入力しておくことにより、それらの合計に対象期間内の集計残高を加減算して累計残高が集計されます。

以上

製作・製造元： Kei
製作年度： 2010年
製作された場所： 日本国神奈川県横浜市
製作品の諸元等： 本ソフトウェアが基底として用いるコンピュータシステム及びソフトウェアに示される諸元を参照
製作品の使用に際して必要となる他の用品等： 表計算用PCソフトウェア [on Excel 2010] Microsoft Excel 2007 [on Excel XP] Microsoft Excel 97-2003
製作品に係る保証の有無とその内容等： 原則として無保証 但し、製作者が適当と認めた場合に限り任意に修理などに応ずる場合がある。
その場合の取扱を当製作所では「準保証」と称す。
製作品の使用目的の制限： なし

製作所（作者）連絡先：ide@sbsinc.jp

シェアウェア送金方法： 金融機関振込にてお願いいたします。振込手数料は別途御負担となります。
2011年2月現在の定価 850 円 / 当該zipファイル1個につき
振込先金融機関： 横浜銀行 藤沢支店 普通預金 1521480 イデ ケiske
振込人の氏名表示は任意です。

本製作品に指定とする当製作所の純正用品…… [フォント] HGPゴシックM、HGSゴシックM、Meiryo UI (Windows 純正フォント)
(2011年2月現在) それら以外のフォントを用いると表示欄(セル)に記載内容が収まらない、ないしは判読困難となることが多くなります。
[マウス] BUFFALO BSMOU05Mシリーズ
本ソフトウェアでは実務における便宜の観点からやや小さめのマウスを推奨しております。
[日本語変換] Microsoft Office IME 2010
勘定科目を入力する際、圧倒的な変換性能があります。
それ以外でも極力Office IME(旧バージョン)の選択を推奨します。
その他、PCやOS、キーボードなどに関しては特に指定はありません。Macintoshも歓迎であります。